



## 平成23年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社  
コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員  
四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日

(氏名) 信太 明  
(氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	1,715	15.7	121		118		163	
22年5月期第3四半期	2,034	35.0	140		140		163	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年5月期第3四半期	2,262.63	
22年5月期第3四半期	2,251.07	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年5月期第3四半期	1,157	899	77.6	12,396.59
22年5月期	1,479	1,098	74.2	15,157.33

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 897百万円 22年5月期 1,097百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年5月期		0.00		300.00	300.00
23年5月期		0.00			
23年5月期(予想)				300.00	300.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
通期	2,621	5.0	51		50		19		272.18	

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.4「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名

)、除外 社 (社名

)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年5月期3Q 72,428株 22年5月期 72,428株

期末自己株式数 23年5月期3Q 株 22年5月期 株

期中平均株式数(四半期累計) 23年5月期3Q 72,428株 22年5月期3Q 72,428株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
【第3四半期連結累計期間】	P. 7
【第3四半期連結会計期間】	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12
4. 補足情報	P. 13
生産、受注及び販売の状況	P. 13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年6月1日～平成23年2月28日）におけるわが国経済は、経済政策効果や輸出を中心とした経済環境の改善により、景気は徐々に回復基調に転じ始めているものの、雇用情勢や所得環境の悪化が続き、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは事業構造の転換と事業領域の拡大を重要な経営課題と認識し、検索エンジンマーケティング（以下、「SEM」）領域から、グローバルコンサルティング領域へと事業を拡大し、引き続き積極的に体制の強化やサービスの拡充を進めてまいりました。

まず、国内においては、昨年12月に提携したインターネット視聴率データベースや利用動向調査データを提供しているコムスコア・ジャパン社との連携を強化し、同社の計測ツールを活用したサービスを提供すると共に利用動向調査の発表を定期的に行っております。引き続き、グローバルマーケティング関連のサービスラインナップの拡充をはかり、顧客サービスの充実に努めてまいります。

また、管理体制を一本化することで効率的な資源配分と意思決定が可能になると考え、平成20年4月に法人化したアウン沖縄ラボラトリー株式会社を平成23年2月28日に解散し、平成23年3月1日より当社の支店として一体化した運営体制を構築してまいります。

次に、海外においては、外国人向け観光情報Webサイト「Visit First」での広告販売を中心に積極的な営業活動を展開した結果、先行して設立した台湾の拠点をはじめ各拠点においても堅調に顧客数も増加し、成果を上げ始めております。また、現地での販促セミナーを定期的を開催するなど販売促進活動にも取り組んでまいりました。

こうした国内外での取り組みにより、売上に関してはクリエイティブ事業を担っていた当社連結子会社が連結対象から外れたことにより、前年同期と比べて減収となりました。また、利益面に関しては、一層の経費圧縮に努めた結果、前年同期に比べ損益幅が改善しましたが、国内における高付加価値サービスへの転換の遅れや海外現地法人の収益化の遅れが影響し、厳しい結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,715百万円（前年同期比15.7%減）、営業損失は121百万円（前年同期は営業損失140百万円）、経常損失は118百万円（前年同期は経常損失140百万円）、四半期純損失は163百万円（前年同期は四半期純損失163百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて24.7%減少し、974百万円となりました。これは、主に四半期純損失の計上等による現預金の減少及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、182百万円となりました。これは、主に無形固定資産が増加した一方で、敷金保証金が減少したことによるものであります。

##### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて30.3%減少し、253百万円となりました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて72.5%減少し、5百万円となりました。これは、主に退職給付引当金の減少によるものであります。

##### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて18.1%減少し、899百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の四半期末残高は670百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、96百万円（前年同期は102百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失142百万円を計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、55百万円（前年同期は70百万円の支出）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出49百万円及び無形固定資産取得による支出24百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、23百万円（前年同期は73百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額22百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成22年8月17日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

##### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の連結財務諸表への影響は軽微であります。

##### ② 「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日）、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	670,375	858,762
受取手形及び売掛金	273,062	366,010
仕掛品	616	10,574
未収還付法人税等	—	13,834
繰延税金資産	—	22,101
その他	31,052	26,904
貸倒引当金	△475	△3,456
流動資産合計	974,631	1,294,731
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,696	18,423
減価償却累計額	△5,652	△3,379
建物(純額)	13,043	15,044
工具、器具及び備品	40,904	40,624
減価償却累計額	△25,567	△20,999
工具、器具及び備品(純額)	15,337	19,624
有形固定資産合計	28,380	34,668
無形固定資産		
のれん	2,848	—
ソフトウェア	31,870	24,836
その他	945	—
無形固定資産合計	35,664	24,836
投資その他の資産		
投資有価証券	37,844	43,423
敷金及び保証金	65,073	79,729
その他	15,704	1,833
投資その他の資産合計	118,622	124,985
固定資産合計	182,668	184,491
資産合計	1,157,299	1,479,222

アウンコンサルティング(株)(2459)  
平成23年5月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	172,801	252,459
未払費用	30,631	48,661
未払法人税等	1,708	558
未払消費税等	6,491	—
前受金	17,315	22,755
受注損失引当金	—	53
その他	24,086	38,350
流動負債合計	253,034	362,839
固定負債		
退職給付引当金	—	12,194
その他	5,009	5,999
固定負債合計	5,009	18,194
負債合計	258,043	381,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	339,576
資本剰余金	470,576	470,576
利益剰余金	103,037	288,643
株主資本合計	913,189	1,098,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,884	△878
為替換算調整勘定	△13,444	△101
評価・換算差額等合計	△15,329	△980
少数株主持分	1,396	374
純資産合計	899,256	1,098,189
負債純資産合計	1,157,299	1,479,222

(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	2,034,881	1,715,859
売上原価	1,620,285	1,426,762
売上総利益	414,595	289,096
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	※ <sup>1</sup> 554,957	※ <sup>1</sup> 410,826
営業損失(△)	△140,362	△121,729
営業外収益		
受取利息	591	515
還付加算金	3,120	579
解約手数料等	—	1,346
未利用チケット収入	1,134	—
為替差益	—	2,029
その他	654	1,492
営業外収益合計	5,499	5,962
営業外費用		
支払利息	1,677	163
為替差損	644	—
投資有価証券評価損	2,578	2,886
その他	598	21
営業外費用合計	5,498	3,071
経常損失(△)	△140,361	△118,838
特別利益		
貸倒引当金戻入額	325	—
移転補償金	82,551	—
特別利益合計	82,876	—
特別損失		
固定資産除却損	549	—
事務所移転費用	18,867	—
減損損失	※ <sup>2</sup> 37,894	6,837
子会社株式売却損	—	16,057
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	705
特別損失合計	57,312	23,601
税金等調整前四半期純損失(△)	△114,796	△142,439
法人税、住民税及び事業税	290	440
法人税等調整額	55,768	22,101
法人税等合計	56,059	22,541
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△164,981
少数株主損失(△)	△7,815	△1,103
四半期純損失(△)	△163,040	△163,878

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	746,599	478,803
売上原価	600,159	399,180
売上総利益	146,440	79,623
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	※ <sup>1</sup> 182,421	※ <sup>1</sup> 118,536
営業損失(△)	△35,981	△38,912
営業外収益		
受取利息	282	175
還付加算金	4	—
解約手数料等	88	297
為替差益	161	4,094
その他	398	41
営業外収益合計	936	4,608
営業外費用		
支払利息	432	51
投資有価証券評価損	928	1,356
その他	14	0
営業外費用合計	1,374	1,408
経常損失(△)	△36,420	△35,712
特別損失		
減損損失	※ <sup>2</sup> 37,894	6,837
特別損失合計	37,894	6,837
税金等調整前四半期純損失(△)	△74,314	△42,550
法人税、住民税及び事業税	309	150
法人税等調整額	41,888	21,844
法人税等合計	42,198	21,994
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△64,544
少数株主損失(△)	△1,385	△115
四半期純損失(△)	△115,127	△64,428

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△114,796	△142,439
減価償却費	16,283	16,525
のれん償却額	39,202	529
減損損失	37,894	6,837
子会社株式売却損益(△は益)	—	16,057
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	250	△2,980
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,072	△144
受注損失引当金の増減額(△は減少)	281	△7
投資有価証券評価損益(△は益)	2,578	2,886
受取利息及び受取配当金	△591	△515
支払利息	1,677	163
移転補償金	△82,551	—
固定資産除却損	5,731	—
売上債権の増減額(△は増加)	△27,156	51,049
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,891	△3,214
仕入債務の増減額(△は減少)	77,183	△61,780
その他	△10,692	6,825
小計	△69,667	△109,502
移転補償金の受取額	82,551	—
利息及び配当金の受取額	591	515
利息の支払額	△1,675	△163
法人税等の支払額	△17,033	△224
法人税等の還付額	107,938	12,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,704	△96,416
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,300	—
定期預金の払戻による収入	2,502	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	600	—
有形固定資産の取得による支出	△34,803	△600
無形固定資産の取得による支出	△3,827	△24,494
子会社株式の取得による支出	—	△948
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△49,466
敷金及び保証金の差入による支出	△61,679	△2,128
敷金及び保証金の回収による収入	37,597	15,309
その他	—	6,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,909	△55,649

アウンコンサルティング(2459)  
平成23年5月期 第3四半期決算短信

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,601	—
リース債務の返済による支出	△571	△959
配当金の支払額	△28,503	△22,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,675	△23,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,186	△13,207
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,694	△188,386
現金及び現金同等物の期首残高	947,114	858,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ <sup>1</sup> 906,419	※ <sup>1</sup> 670,375

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,807,637	227,243	2,034,881	—	2,034,881
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,843	8,064	19,908	19,908	—
計	1,819,480	235,308	2,054,789	19,908	2,034,881
営業損失(△)	△61,569	△78,936	△140,505	△143	△140,362

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

SEM事業・・・SEO、P4P、その他

クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、グローバル・マーケティング・カンパニーとして英語・中国語・日本語など多言語によるマーケティング戦略全般を提供しており、「マーケティング事業」と「クリエイティブ事業」から構成されております。「マーケティング事業」では、SEMを主としたマーケティング分野のサービスを提供しております。「クリエイティブ事業」では、英語・中国語・日本語などの多言語におけるWeb制作に特化したサービスの提供を行ってまいりましたが、平成22年8月31日付で同事業を担ってまいりました当社連結子会社の全株式を売却し連結対象外としました。したがって、第2四半期連結会計期間以降は「マーケティング事業」のみの単一セグメントとなっております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	マーケティング事業	クリエイティブ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,656,897	58,961	1,715,859	—	1,715,859	—	1,715,859
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,630	3,704	6,335	—	6,335	6,335	—
計	1,659,528	62,666	1,722,194	—	1,722,194	6,335	1,715,859
セグメント損失	△117,783	△3,960	△121,744	—	△121,744	△14	△121,729

(注) 1. セグメント損失の調整額△14千円は、棚卸資産の調整額であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

第2四半期連結会計期間以降は当社グループはマーケティング事業のみの単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

平成22年8月31日付でクリエイティブ事業を担っておりました当社連結子会社の全株式を売却し連結対象外としたことにより、第2四半期連結会計期間以降はマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### 生産、受注及び販売の状況

##### (1) 生産実績

該当事項はありません。

##### (2) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
マーケティング事業	1,199,862	—
クリエイティブ事業	—	—
合計	1,199,862	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 クリエイティブ事業を担ってございました当社連結子会社の全株式を売却したため、第2四半期連結会計期間以降はマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。

##### (3) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
マーケティング事業	—	—	—	—
クリエイティブ事業	63,547	—	—	—
合計	63,547	—	—	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 クリエイティブ事業を担ってございました当社連結子会社の全株式を売却したため、第2四半期連結会計期間以降はマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。

##### (4) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
マーケティング事業	1,656,897	—
クリエイティブ事業	58,961	—
合計	1,715,859	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 クリエイティブ事業を担ってございました当社連結子会社の全株式を売却したため、第2四半期連結会計期間以降はマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。